

米川 勝利

profile よねかわ しょうり

- 1986年、茨木生まれ
- めぐみ幼稚園、大池小学校、東中学校、茨木高校出身
- 同志社大学政策学部卒業
- 同志社大学大学院 総合政策科学研究科 博士前期課程 修了
- 2014年9月 同大学院 博士後期課程 退学
- 監査委員(議選、2020年2月～2021年2月、2023年2月～2024年2月)
- 大阪広域水道企業団議会議員(2024年7月～)
- 防災士
- 茨木高校久敬会理事
- 茨木BBS会顧問
- 2児の父

2013 茨木市議会議員選挙、初当選

大学1年の時に茨木市議会議員のもとで議員インターンシップに参加以来、政治に関心を持ち、審議会等の市民委員や地域や学校での活動を重ねる。母がろう者であり、日々の生活の困りごとは見て育ってきたので、市民の暮らしをより良くしたい思いで、26歳で立候補、初当選。更生保護の青年ボランティア団体である「茨木BBS会」に入会し、ある少年との出会いをきっかけに、「子ども・若者支援」のテーマに取り組み始める。学生時代に受け入れていただいた経験から、学生インターンの受け入れをスタート。

2017 2期目当選

「とにかく勉強」と思い、文献や他市への視察、他市の議員との交流・情報交換にも重点を置き、「おいしい、楽しい、おしゃれ」のまちづくりを意識し始める。共同通信より取材を受け、福井新聞ほか地方紙15紙にインタビュー記事が掲載される。また、第1子が生まれたことにより、子育て支援についても関心が深まる。市民活動では、さつまいもでまちおこしのプロジェクトにも学生時代より引き続きの参加。

2021 3期目当選

コロナの影響により、学びが制限されていた次世代のために何ができると考え、高校生や大学生対象にしゃべり場をつくり始める。子育て世代や高齢者等、様々な世代からご相談をいただく機会が増え、議会質問のテーマもまちづくり、待機児童、教育、高齢者福祉など広がる。また、市議会議長会より10年表彰、近畿地方更生保護委員会委員長よりBBS会員として、感謝状をいただく。

取組事項の詳細は中面をご覧ください



問合せ先
茨木市議会議員 米川勝利
070-5265-4371
info@s-yonekawa.net

ホームページはこちら
<https://www.s-yonekawa.net/>



Instagram はじめました / follow me!
yonekawa_shori



YouTube
米川勝利チャンネル 検索



つながりだより
初当選以降の議会ニュースを
ご覧いただけます



つながりだより 第44号 特別版

発行日：2025.1.1

無所属 茨木市議会議員 議会ニュース

米川 よねかわ しょうり 勝利

第44号 特別版

1～2期の振り返り
3期目の取り組み

市民の声を力に。
声をカタチに。

明るい未来に
挑戦中

議会にて

予算質疑 委員会質疑
行政に確認・議論・要望

米川勝利から、
1期目から現在に至るまでの
主な取組事項の振り返りと報告です

- 主な取組事項
- Q&A みなさまからの声に答えます
- これまで大事にしてきた考え
寄り添う福祉 / 次世代のまちづくり / 教育のまち

取組事項の詳細は中面をご覧ください



市民の声を力に。声をカタチに。

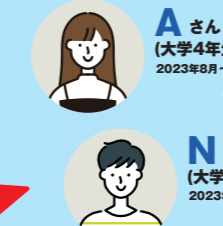
これまでの3期を振り返って...

今回の議会ニュースでは、1期目から現在に至るまで(特に3期目)の振り返りと報告をさせていただきます。これまで議会ニュースは今号を含めて44回発行し、議会の本会議では、56回登壇しました(予算質疑、単行議案質疑)。もちろん、本会議や委員会に限らず、いただいた市民の声については行政に確認、議論、要望をしてきました。紙面に限りがありますが、それらの主な内容についてご報告します。



学生インターンに聞いてみた! **米川勝利** ってどんな人???

- #とことん寄り添ってくれる
- #的確なアドバイスをもらえる
- #話しやすい
- #相談しやすい
- #常に前向き



Aさん(大学4年生) 2023年8月~
Nくん(大学3年生) 2023年4月~

常に人のことを考えて行動されていると思います!実際にインターンを始めた時から話やすく、キャリアの相談をした際には私が納得いくまで話を聞いてくださり、的確なアドバイスをいただきました。また常に前向きな姿勢で挑戦を恐れず、周囲に良い影響を与える人だと感じています。

一緒にまちを歩いていて、顔の広さや地域に密着して活動しているということを感じます。優しく、相談に乗ってくれる人です。

これまで大事にしてきた考え

現在3期目!
茨木の明るい未来に挑戦中

みなさまからの声に Q&A 答えます

地域包括支援センターで要介護認定の申請をしたら、2か月かかると言われた。もっと早く下りないか。

担当課にすぐに確認してもらいました。その後、議会でも取り上げて、次の年度の当初予算で認定調査の委託をすることとなりました。要介護認定の迅速化につながります。

家族が亡くなり、何度も市役所に行って、いろんな窓口で足を運んで大変だった。

総務常任委員会において、他市の事例を参考に、お悔やみ関連のワンストップサービス窓口設置を提案しました。行政側のご尽力により、2021年度よりおくやみ窓口が設置され、一つの窓口で完結するようになり、手続きが楽になったとお声をいただいています。

希望箇所を多く出したが、保育所に入れなかった。何とかならないか。

2024年3月・6月議会の本会議で質問しました。定員の弾力化、閉園した公立幼稚園や移転予定の待機児童保育室の跡地活用を要望しました。引き続き取り組みます。

【1期目】主な取組事項	自己評価
・非行、高校中退、ひきこもり、貧困等のさまざまな子ども・若者の実態を把握と子ども・若者支援の入口支援となる相談窓口の設置を提案	○
・市民への情報発信(平時・災害時)の充実、避難所で使えるPC等整備	○
・救急隊員への手話講習会の実施と、コミュニケーションボードを救急車に載せておくことを実現 →ろう者の方から、夫が救急搬送された時、「救急隊員と意思疎通が難しく不安だった」という声から、委員会で取り上げ、消防のご協力により実現	◎
・手話言語条例や障害者差別解消、情報保障を含む総合的な条例の検討	◎

【2期目】主な取組事項	自己評価	自己評価	自己評価
・公共空間の有効活用(民間提案制度の導入)	◎	・阪急茨木市駅高架沿いの噴水、舟木町まちかど公園のリノベーション	○
・電子書籍貸出サービスの導入	○	・災害ごみの処理の想定(災害廃棄物処理基本計画の策定提案)	◎
・コロナ禍で利用頻度が高まった公園遊具の安全確保	◎	・災害時援助協定先との具体的な取り決め、避難所の電源確保、災害時のトイレ対策	○
・水道施設(十日市浄水場の浸水対策)	○		

【3期目】主な取組事項	自己評価	自己評価	自己評価
・おくやみ窓口(ワンストップサービス)の設置	◎	・小学校の防火設備の順次修繕	○
・要介護認定調査の民間への委託(指定市町村事務受託法人への委託)	◎	・障害児通所支援の充実	○
・高齢者のゴミ出し支援	取組中	・監査で指摘のあった保育所・幼稚園遊具の修繕	◎
・市公式アプリで道路や遊具の修繕依頼	◎	・阪急茨木市駅前舟木町まちかど公園のハト対策	○

01 寄り添う福祉

ライフステージに応じて市民に寄り添うまちへ

市民一人一人の暮らしを支えるため、ライフステージに応じた福祉の充実が必要だと考えています。例えば、子育てのしやすさ / 働きやすさや、高齢の方の日々の生活、介護のこと、障害のある方やその家族の困りごとなどの課題に視点を置いています。多様なニーズがありますが、市民に一番近い自治体(市役所)だからこそ、何ができるのかを絶えず問うていく必要があると思っています。

02 次世代のまちづくり

もっと住みたい・住み続けたいまちへ

災害にも強い安心・安全のまちづくりはもちろん、まちの魅力や価値を高める(「おいしい・楽しい・おしゃれ」の)まちづくりにも取り組むことで、住みたい・住み続けたい茨木を念頭に置きました。また、交通関係については、日々の市民生活に大きく関わることであるため、多様な声を聞き、先進事例を学びつつ課題に取り組んでいます。

03 教育のまち

こどもファーストで、学びの環境が充実したまちへ

子どもたちの学びと学校生活環境が充実したまちをめざします。一人一人を大切に、それが出発点です。今期は特に、学校教育におけるソフト・ハード両面で議会質問、要望をしてきました。例えば、学校のリノベーションや図書館の充実、校舎管理の外部委託(教員の負担軽減で子どもとの関わりの時間を増やす)などです。

みなさまの声こそがこのまちを変えていく力です。心をこめて、市民のみなさまの声を聞き・聴き、カタチにしていきたいと思います。